



お元気ですか!

志村 たかよし です

オリンピック・
パラリンピック東京大会

被災地に思いはせ… 人と環境に調和した無理のない計画に

9月25日の一般質問で、「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会」を取り上げました。

どこまで膨れあがる整備費

東京都はオリンピックをテコに、東京への一極集中をさらに加速させようとしています。

37会場で、22施設が新設となり、道路などのインフラ整備も計画され、すでに、整備費が1538億円から4100億円へと2500億円以上膨らむということです。

私は、被災地からの新聞投書



質問する私（志村）

（下）を読み上げるとともに、オリンピック後に莫大な借金を抱えて危機的な事態に陥った国や都市があることを指摘し、「施設の豪華さを競い、交通・通信・警備などのインフラ整備の関係費を膨張させ、都民生活や福祉を圧迫してはいけない。環境を破壊せず、生活や環境と調和のとれた無理のない取り組みが求められているのではないか」と区長の認識を問いました。

区長は「開催に向け様々な準備が進められていくと思われる。区として全力で支援する。地域の課題解決に取り組む」と答えるにとどまりました。

オリンピック後の晴海は…

私は、選手村が予定されている晴海地区が、将来のまちづくりのモデルとなるような、車社会から脱却して自転車専用レーンや低公

「華やかに開発が進む都市部もあります。一方で津波被害に遭い、尊い人命を奪われ、多くの家屋や生活が流出したままの被災沿岸もあります。そこは、荒れ果てた空き地で手つかず状態なのです」（仙台市女性）

害公共交通機関が整備された街、人と環境を中心としたバリアフリーでヒューマンスケールの街になるように今から考えるべきではないかと提案しました。

区長は「新たな交通機関の導入をはじめ、教育施設、公共公益施設や生活関連施設の整備などの基盤整備について、地元住民の意向を把握しながら進めていく」と答えました。





これからどうなる…晴海地域

過剰なテロ対策訓練は抑制を

9月12日、警視庁は晴海トリートンで爆弾テロへの対処訓練を早々と行いました。今後もオリンピックを想定した訓練を行うとしていきます。

私は、区長が警視庁にたいし、住民生活に悪影響を及ぼすような過剰な訓練や監視活動など行わないように申し入れることを求めま

した。

区長は「区民生活への影響に配慮した上で、周到な訓練が積み重ねられると認識している」と答弁しました。

その後、警視庁は「オリンピックの安全対策のために、周辺道路の通行止めなどについて、今後住民に理解を求める」ことを発表しました。

大会期間中のみならず、準備期間も含めて、晴海、勝どき、月島地域や晴海通り周辺の区民生活や営業生活への多大な影響が想定されます。

あわせて、過剰な対テロ訓練や警備にならないよう、今から、警視庁に申し入れ、訓練等の時は、事前に区や住民と協議するなど訓練を行うルールを決めていく必要があると思います。



「2014年度予算要望書」を区長に提出

施策全般にわたって510項目

現在、議会は昨年度（12年度）の決算を審議していますが、行政は来年度（14年度）の予算の検討をそろそろ始めます。

日本共産党区議団と党地区委

員会は、9月26日、来年度の「予算要望書」を区長に提出しました。

この要望書は、区民のみならずから寄せられている切実な要求や、毎年行っている党区議団による「区民アンケート」の結果などを集約して、日本共産党の政策的提起とともに、区の施策全般にわたって510項目にまとめたものです。

左が私（志村）、右側が区長



理事者側は、矢田区長、小泉、吉田両副区長、中島企画部長、島田総務部長、斉藤教育長らが出席しました。